

我孫子市デジタル化推進基本方針

～ いつもの、あたりまえに、人に優しいデジタル化 ～

我孫子市

令和4年4月

目 次

I	改訂の趣旨等	-----	1 ページ
	1 背景		
	2 方針の位置付け		
II	基本理念とビジョン	-----	2 ページ
	1 基本理念の掲示		
	2 考え方・留意点		
	3 ビジョン		
III	体制と役割	-----	4 ページ
	1 組織の体制と役割		
IV	用語集	-----	5 ページ

I 改訂の趣旨等

1 背景

本市では、これまでもICTを有効活用し、行政運営の効率化や市民サービスの向上を図ってきました。

国においては日本のデジタル社会実現の司令塔として令和3年9月にデジタル庁が発足し、我が国が目指すデジタル社会の姿を「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」として掲げ、『デジタル社会の実現に向けた重点計画』を策定し、地方公共団体の役割なども示しました。また、それに先立ち、自治体が重点的に取り組むべき事項・内容を具体化した「自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)推進計画」及び「自治体DX推進手順書」を示し、自治体が着実にDXに取り組めるよう支援をしています。

我孫子市においても、DXを推進することにより、市民の利便性を向上させるとともに業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていくことが求められていることから、「我孫子市情報化推進基本方針」を見直し、新たに「我孫子市デジタル化推進基本方針」として改訂しました。

デジタル化に関する技術は近年において急速に進化しており、RPA、AI、IoT等の技術の活用が進む一方で、市民のライフスタイルは大きく変化し、市民ニーズも複雑で多様化しています。

技術の進歩や市民のニーズに対し、限られた財源と人的資源の中で、一層の質の高い公共サービスを継続的に提供することが求められている一方で、個人ごとの情報スキルの違いによって得られる情報に格差が生じていることやウイルス感染、情報漏洩等のデジタルの負の側面に対して的確に対応していくことが求められています。

2 方針の位置付け

我孫子市第四次総合計画の各分野における施策の実現について、DX推進も考慮した事業を検討・実施するための指針として位置付けます。

この方針は、本市のデジタル化推進の指針として策定するため、特に期間を定めるものではありません。今後の技術革新や社会情勢等の変化に応じて適宜見直しを図ります。

Ⅱ 基本理念とビジョン

1 基本理念の掲示

ビジョンを示すには、デジタル技術により市民サービスの向上や行政の効率化の向上、並びに、情報資産の保全対策を確保し、市民と職員からの信頼を得ることが必要になります。それらを達成するための基礎として、我孫子市におけるデジタル化の将来像並びに3つの理念を掲げます。

将来像 ～いつもの、あたりまえに、人に優しいデジタル化～

理念1 「DX推進による市民サービスの向上」

理念2 「行政運営の効率化」

理念3 「セキュリティの確保」

2 考え方・留意点

基本理念を施策に導入する際には、次の考え方に留意します。

理念1 「DX推進による市民サービスの向上」

DXの推進により、市民のニーズや多様化する生活等に対応した誰もが便利さや快適さを実感できる市民目線に立ったサービスの提供に努めることをもって、市民サービスの向上を図ります。

理念2 「行政運営の効率化」

ICTを有効活用し、テレワークやペーパーレスなどを含む市役所の労務に関する環境の整備や業務の効率化により、働き方改革を推進し、効率的・効果的な行政の運営を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていくことを目指します。

理念3 「セキュリティの確保」

我孫子市情報資産保全対策方針（我孫子市情報セキュリティポリシー）に基づき、物理的セキュリティ、人的セキュリティ及び技術的セキュリティを確保します。

3 ビジョン

理念に基づき次の4つのビジョンを定めデジタル化の推進を図ります。

ビジョン1

「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化の実現」

デジタル技術の進展により、従来ではできないと諦めていたことが可能な時代となってきたことから、誰もがデジタル化の恩恵を享受できる社会を目指します。そのために利用者中心の視点を第一とするサービスデザイン思考で施策を進めていきます。

また、誰もがオンラインで確実に本人確認ができるよう、デジタル社会の基盤となるマイナンバーカードの普及促進に努めます。

ビジョン2

「業務改革と働き方改革の推進」

デジタル化3原則を基本とし、書面・押印・対面規制に併せて、標準準拠システムの導入や行政手続きのオンライン化を進めるとともに様々なICT技術を活用することにより業務改革及び働き方改革を推進します。

ビジョン3

「推進体制の構築と人材の育成」

市のデジタル化を推進するために必要なスキルが得られるよう人材育成を進め、全職員とデジタル化についての意識を共有することにより、全庁的なデジタル化推進体制の構築に取り組みます。

また、市の実情に合わせ、必要に応じて外部人材や国等が主催する研修等の活用も視野に入れ、様々な推進体制の強化に努めます。

ビジョン4

「様々なリスクに対してのセキュリティの確保」

国や市のセキュリティポリシーに基づき安全管理基準を整備し、ネットワークや機器にセキュリティ対策を講じ「機密性」「完全性」「可用性」を確保するとともに職員への教育を進めリスクに対応します。

また、感染症等のリスクに対応するため、接触機会の抑制や庁内における滞留時間の減少を目指します。

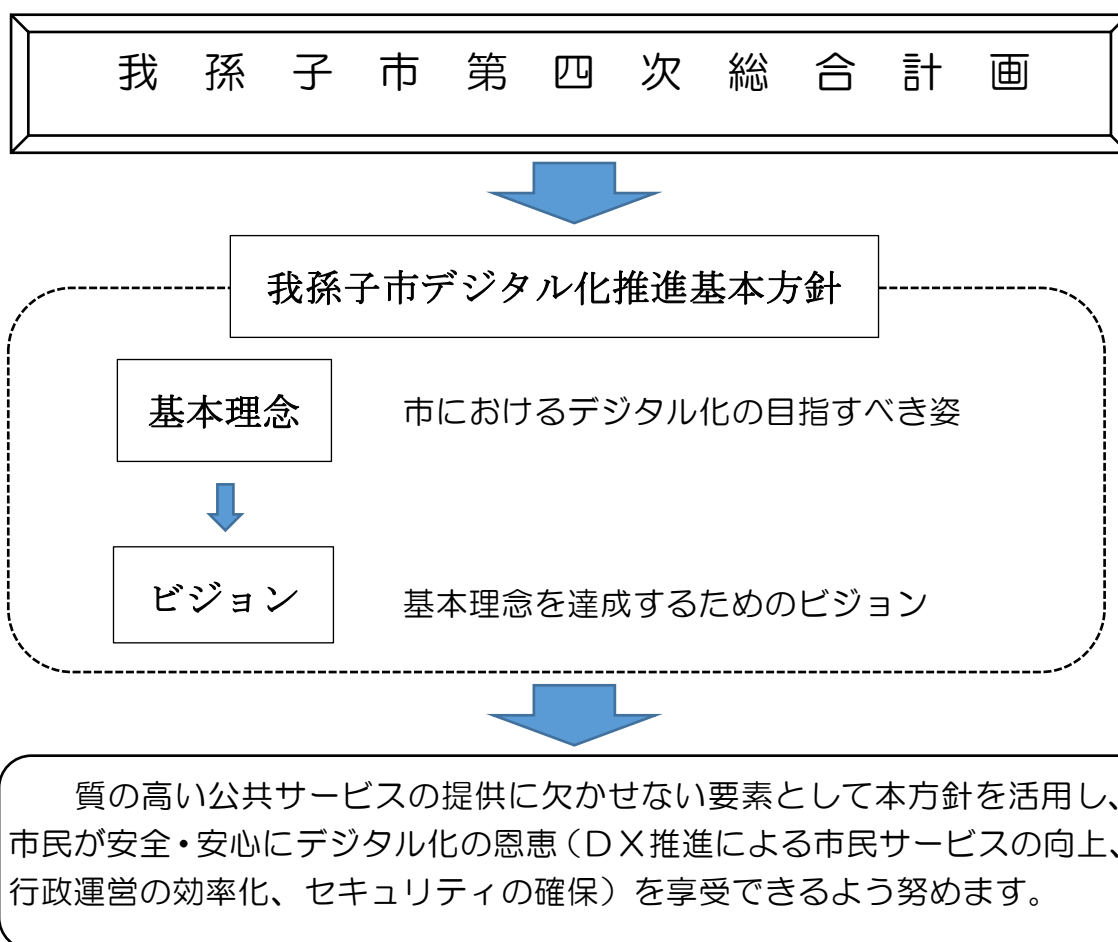
Ⅲ 体制と役割

1 組織の体制と役割

本方針のもとデジタル化を推進するため、企画政策課デジタル化推進係と行政管理課情報システム係は相互に協力しながら、デジタル化に係る施策の取りまとめや施策の企画・実行・評価・改善に係る支援等を行うとともに、全庁的な情報基盤の導入・運用・評価・改善を実施します。また、将来の効率化に向けた助言を行うことができるものとします。

業務主管課は、企画政策課デジタル化推進係や行政管理課情報システム係の支援を受けながら施策の企画立案からシステムの導入・運用・評価・改善までを主体的に実行します。

また、将来的な展望や全庁的な広がり可能性がある事案については、必要に応じ、全庁的な組織、人員体制、事業及び予算を調整する各主管課と協議し、検討するものとします。



IV 用語集

用語	説明
AI (Artificial Intelligence)	知覚・認識・学習・推論・判断といった知的活動を行う人工物（機械やコンピュータ・システムなど）を作り出すことを目的とした研究分野や研究アプローチのこと。あるいはその研究成果として生み出された技術の総称、ないしはその技術を用いて作られた機械やシステム、コンピュータ・プログラム。
DX (Digital Transformation)	ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。
ICT (Information and Communication Technology)	情報処理技術や通信技術など、デジタル領域の技術全般のこと。従来から使われていたITに替わって、通信ネットワークによって情報が流通することの重要性を意識して使用される。
IoT (Internet of Things)	コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体（モノ）に通信機能を持たせ、インターネットへの接続や相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。
RPA (Robotic Process Automation)	AIやロボット技術を活かして主に間接部門の業務を自動化する取り組みのこと。ユーザー・インターフェース上の操作を認識する技術とワークフロー実行を組み合わせ、表計算ソフトや基幹業務システムなど複数のアプリケーションを使用する業務プロセスを自動化する。
デジタル化3原則	<p>情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律〔平成十四年法律第百五十一号・令和三年法律第三十六号による改正〕（デジタル手続法）第二条に規定されている3つの原則を次のように表現したもの。</p> <p>デジタルファースト： 個々の手続・サービスが一貫してデジタルで完結する</p> <p>ワンスオンリー： 一度提出した情報は、二度提出することを不要とする</p> <p>コネクテッド・ワンストップ： 民間サービスを含め、複数の手続き・サービスをワンストップで実現する</p>
サービスデザイン思考	サービスを利用する利用者の一連の行動からサービス全体を設計する考え方
デジタル社会の実現に向けた重点計画	目指すべきデジタル社会の実現に向けて、政府が迅速かつ重点的に実施すべき施策を明記し、各府省庁が構造改革や個別の施策に取り組み、それを世界に発信・提言する際の羅針盤となるものとして策定され、理念、原則、基本戦略や分野ごとの施策などが示されている。

我孫子市
企画総務部 企画政策課